

弘前市地域福祉活動計画

(令和 5 (2023) 年度～令和 8 (2026) 年度)



目 次

第1章	計画の概要	1
1.	計画策定の背景と目的	2
2.	計画の位置づけ	2
3.	計画の期間	3
4.	計画策定に向けた課題と整理	3
5.	計画の進行管理と評価・修正	5
第2章	基本理念・基本目標	6
1.	基本理念	7
2.	基本目標	7
3.	計画の体系	9
第3章	実施計画	11
1.	基本目標Ⅰ 住民参加による地域福祉活動の推進	12
	推進項目① 小地域ネットワーク活動の推進	12
	推進項目② 地域福祉のニーズ把握と地域組織体制の強化	13
	推進項目③ 地域福祉活動の啓発・普及・連絡	14
2.	基本目標Ⅱ ボランティアの育成及び福祉教育の推進	16
	推進項目① ボランティアの育成と活動の支援	16
	推進項目② これからの福祉を担う人材の育成	19
3.	基本目標Ⅲ 生活課題の解決に向けた相談・支援体制の強化	21
	推進項目① 相談支援体制の充実	21
	推進項目② 生活困窮者に対する支援の強化	21
	推進項目③ 権利擁護の推進	23
4.	基本目標Ⅳ 健康増進と福祉サービスの提供	25
	推進項目① 高齢者の社会参加と生きがいの推進	25
	推進項目② 福祉サービスの提供	26
5.	基本目標Ⅴ 市社協の組織体制整備と運営基盤の強化	29
	推進項目① 職員の資質向上と財源の確保	29
	推進項目② 関係機関団体との連携・協力	30

第 1 章 計画の概要

1. 計画策定の背景と目的

近年、急速な人口減少等を背景に、少子高齢化、核家族化が進行し、家庭や住民同士の相互扶助機能が低下しつつあります。また、地域においては、社会的孤立からの高齢者の孤独死、認知症が原因による周囲とのトラブル、引きこもり、虐待、生活困窮者など深刻な生活課題が複雑化・複合化しており、既存の制度だけではなく、地域や企業、行政等の各分野と、広く横断的に連携し、対応することが求められています。

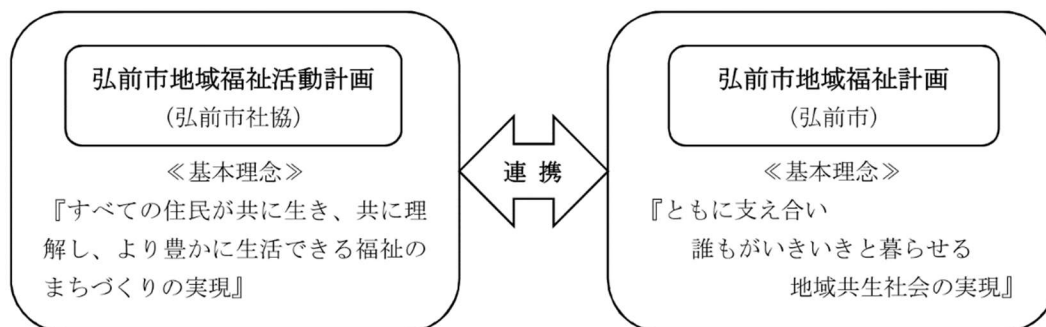
また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大やウクライナ危機は、社会活動を制限し資源や物価の高騰を招くなど、地域や住民の社会生活に大きな影響を与えているのに加え、地域では大雨や豪雪による災害も発生し、ボランティアによる被災者への支援活動も必要性を増しています。

このような中、弘前市社会福祉協議会（以下「市社協」という。）では、『すべての住民が共に生き、共に理解し、より豊かに生活できる福祉のまちづくりの実現』を重点目標として、地区社会福祉協議会（以下「地区社協」という。）との連携を基本とし、地域福祉活動事業を推進してきました。

この計画は、地域の福祉課題を総合的に捉え、地域住民、福祉関係団体、事業者、行政と連携・協働を図りながら、地域福祉活動を推進していくことを目的として策定します。

2. 計画の位置づけ

地域福祉活動計画は、市社協が地域住民・福祉関係団体・事業者・行政などと相互に協力し、地域福祉の課題解決を目指して策定する民間の活動・行動計画です。また、弘前市が策定する地域福祉計画と連携を図りながら地域福祉を推進します。



3. 計画の期間

本計画の期間は、第2期計画については令和5(2023)年度から令和8(2026)年度までの4年間とし、弘前市地域福祉計画と並行し策定することとしています。なお、社会情勢の変化等に柔軟に対応できるよう、必要に応じて見直しを図ります。

計画	年度	平成30年 (2018)	令和1年 (2019)	令和2年 (2020)	令和3年 (2021)	令和4年 (2022)	令和5年 (2023)	令和6年 (2024)	令和7年 (2025)	令和8年 (2026)	令和9年 (2027)
弘前市 地域福祉活動計画 (弘前市社協)			第1期				第2期				
弘前市 地域福祉計画 (弘前市)		第1期				第2期					

4. 計画策定に向けた課題と整理

本計画を策定するにあたり、課題を以下のとおり整理しました。

(1) 住民主体による福祉活動の推進と活動基盤の整備

◆福祉のまちづくりの実現に向けた取り組みとして、地域住民が「他人ごと」を「我がこと」として捉える働きかけを行い、住民主体の福祉活動をより一層強化し、地域福祉活動の推進に向けた基盤を整備する必要があります。

◆地域福祉活動の推進組織として、市内には26地区の地区社協が設置されていますが、いずれも深刻な担い手不足に陥っており、地域づくりに向けた人材の確保と育成が必要です。また、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、地区社協の活動は大きな制限を受けました。徐々に通常の組織活動を再開するためには、きめ細やかで丁寧なサポートが必要です。

◆地域の福祉ニーズを把握するため、住民福祉座談会の開催や地域のあらゆる関係機関とのネットワークを構築し、情報を収集する必要があります。

◆身近な地域や学校、企業といった様々な場面で、福祉やまちづくりなどのボランティア活動に参加する人々が増加し、多様な広がりを見せています。また、大規模な災害時には、ボランティアによる支援活動が欠かせなくなっています。関係団体やひろさきボランティアセンターと連携し、ボランティア活動を推進する必要があります。

(2) 相談・生活支援体制の強化

◆地域住民が抱える多様な生活課題に応えるためには、地域を基盤として解決につなげる支援や仕組みづくりが必要となります。

◆制度の狭間にあり支援につなげにくい生活課題を抱える生活困窮者等について、地域住民、地区社協、民生委員、社会福祉施設、専門機関、行政等と連携・協働し問題解決に向けた取り組みが必要となります。

◆判断能力が不十分な方々に対し、日常生活自立支援事業や成年後見制度などの支援につなげる権利擁護に対するニーズは高く、体制の構築及び充実が喫緊の課題となっています。

◆新型コロナウイルス感染症の影響による休業、失業等により収入が減少した世帯を対象とした生活福祉資金の特例貸付けが終了しました。今後は、ひろさき仕事・応援センター等の関係機関と連携し、未だ収入が安定しない方や償還に窮する方へのフォローアップが必要となります。

(3) 社協の組織機能強化

◆地域福祉事業の推進及び多様化する生活課題等への対応と支援をするため、職員の資質向上と解決力を強化し、事務体制を定期的に見直し、計画的な人員整備に取り組みます。

◆住民主体の地域福祉活動のさらなる推進に向けて、安定的な財源の確保と経営基盤の強化が必要となります。「たすけあい会費」は、地区社協が地域福祉サービスを提供する上で必要不可欠な財源です。全ての世帯が会員としてご協力いただけるよう、理解の

促進等に取り組みます。

◆市社協が所有する建物（弘前市社会福祉センター、身体障害者体育館、すぱーく弘前）の老朽化が進んでいます。設備投資や管理運営に係るコストの最小化、効用の最大化を図り、総合的かつ長期的に企画、管理、活用する方法について、市や福祉関係団体と協議しながら、建物の在り方を検討する必要があります。

5. 計画の進行管理と評価・修正

本計画が、具体的な計画として適切に実行されるよう、その進行状況を管理するとともに、市社協に設置している「地域福祉部会」が定期的に事業の点検と評価を行い、必要に応じて計画の見直しを行います。

第 2 章 基本理念・基本目標

1. 基本理念

誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるための地域づくりを目指すためには、住民の地域福祉への関心や意識を高めるとともに、住民や様々な組織・団体の参加・協働による地域での支え合いの基盤づくりが必要となります。

本計画では、市社協が重点目標として掲げている「すべての住民が共に生き、共に理解し、より豊かに生活できる福祉のまちづくりの実現」を基本理念とし、計画の実現に取り組みます。

『すべての住民が共に生き、共に理解し、
より豊かに生活できる福祉のまちづくりの実現』

2. 基本目標

基本目標Ⅰ 住民参加による地域福祉活動の推進

地域住民から寄せられる多様化する生活課題を解決につなげる支援や仕組みづくりを行うために、地域における住民主体の福祉活動を一層強化するとともに、ボランティア、福祉関係団体等との協働の輪を広げ、地域に根ざした福祉活動を推進します。また、住民それぞれが地域に関心を持つように啓発を図るとともに、地域福祉活動に参加する担い手育成に取り組みます。

基本目標Ⅱ ボランティアの育成及び福祉教育の推進

地域住民の福祉意識の高揚とボランティア活動への積極的な参加を促進するため、関係機関・団体との連携のもとに、ボランティア活動の啓発・ニーズ調査・相談・情報提供等を行います。また、福祉教育の一環として、福祉協力校の指定や福祉体験講習会等を行い、学校や地域が行う福祉教育を支援します。

基本目標Ⅲ 生活課題の解決に向けた相談・支援体制の強化

少子高齢化による高齢者対策が地域の中心的な福祉課題とされている中で、生活困窮者、サービスや支援の拒絶、引きこもり、権利侵害などの多様な生活課題に気づきにくい状況が見受けられます。市社協においては、心配ごと相談、資金の貸付、判断能力が不十分な方の日常生活上の相談・支援事業を実施していますが、相談窓口の機能と利便性を向上させるとともに、地域住民、社会福祉施設・福祉サービス事業者と連携し、相談・支援体制の強化を図ります。

基本目標Ⅳ 健康増進と福祉サービスの提供

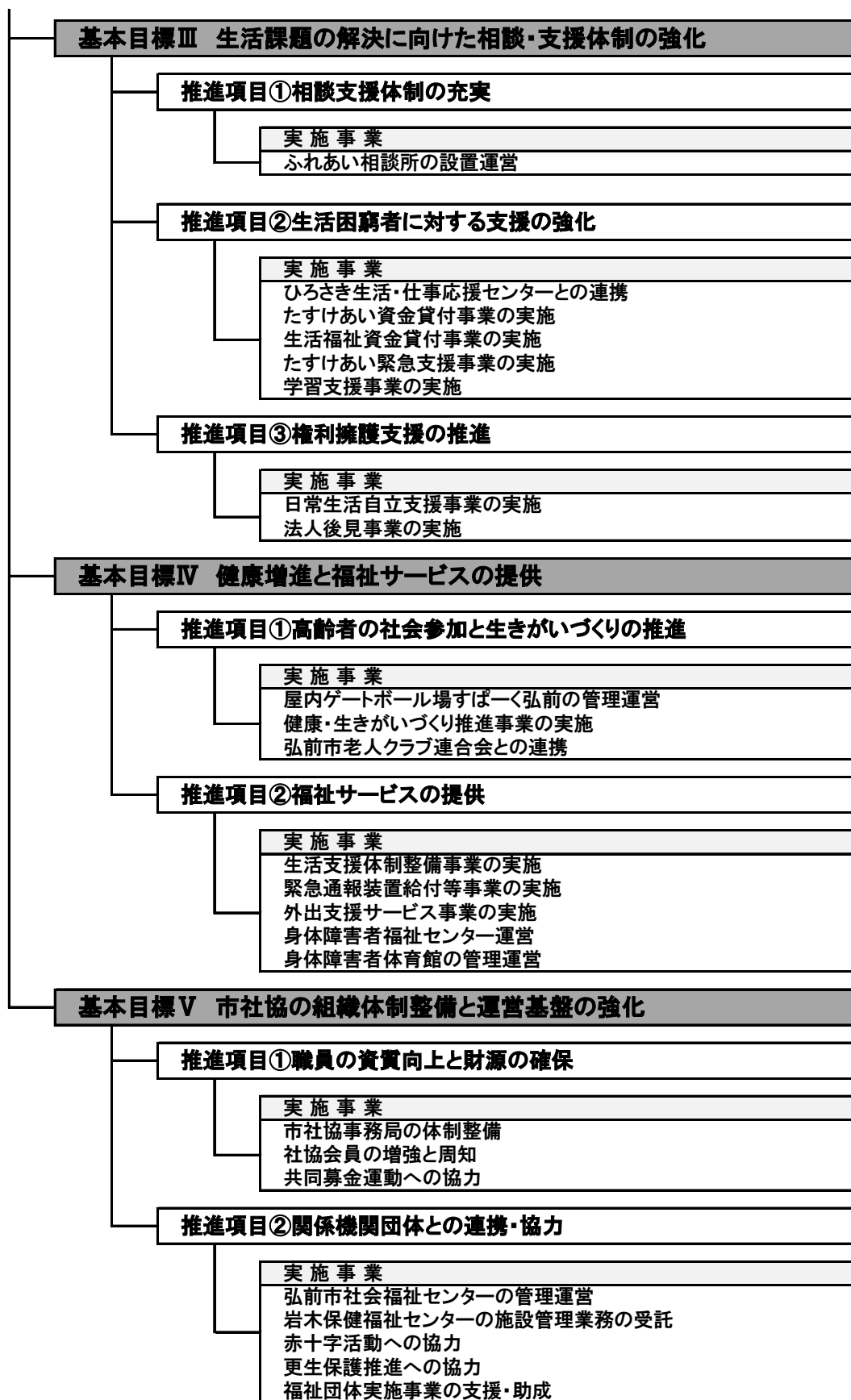
高齢者が生きがいを持って生活するために、健康づくりやこれまで培ってきた経験や知識、技術を社会に生かすための場や情報を提供し社会参加活動の支援に努めます。また、地域住民やボランティア、NPO、民間企業、社会福祉法人、協同組合等の多様な事業主体と連携し、福祉サービスの充実を図ります。

基本目標Ⅴ 市社協の組織体制と運営基盤の強化

市社協の活動財源は、行政等からの補助金や委託料等の公的財源と社協会員からの会費や寄付金等の自主財源で成り立っています。近年、財源の縮減等により財源構造が変化する中で、安定した事業活動を展開できるよう、社協会員の増強を図り、自主財源を確保するとともに、経費を削減し経営基盤の安定化を図ります。また、複雑化する福祉課題等に対応できるよう、キャリア別等による職員育成の体制を整備し、職員の資質向上を図ります。

3. 計画の体系













第 3 章 実施計画





基本目標Ⅰ 住民参加による地域福祉活動の推進

推進項目① 小地域ネットワーク活動の推進

生活支援を必要とする者に対し、地区社協との連携・協働による小地域を単位とした、地域住民の見守り活動や支援活動を推進します。

実施事業名		実施事業内容				主な協働・連携等
ほのぼのコミュニティ 21 推進事業の実施		在宅の一人暮らし高齢者や心身に障がいを持つ方々を対象に、孤独感の解消や精神的な支えと安否確認を目的として、地域住民が声掛けや見守り訪問活動を行います。				地区社協(共通事業) 民生委員児童委員 ほのぼの交流協力員
方向性	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	予定財源	
	 継続	 継続	 継続	 継続	自主財源 市受託金	

実施事業名		実施事業内容				主な協働・連携等
除雪支援事業の実施		一人暮らし高齢者や心身に障がいを持つ方々等で、除雪作業が困難な世帯を対象に、地域住民の協力を得て、間口除雪(生活通路の確保)を行います。また、協力いただける住民の増員と事業未実施地区での実施など、課題を整理し、持続可能な事業展開を研究します。				地区社協(共通事業) 民生委員児童委員 除雪ボランティア
方向性	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	予定財源	
	 継続	 継続	 継続	 継続	自主財源 市補助金	

実施事業名		実施事業内容				主な協働・連携等
ひとり暮らし高齢者給食サービス事業の実施		一人暮らし高齢者を対象に、会食型の給食サービスを実施し、孤独感の解消や地域住民とのふれあいと交流を図ります。				地区社協(共通事業) 民生委員児童委員 町会・地域住民
方向性	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	予定財源	
	 継続	 継続	 継続	 継続	自主財源 共同募金配分金	

実施事業名		実施事業内容				主な協働・連携等
地域ふれあい交流会の開催		子どもから高齢者まで、世代を超えた交流を深めるために、昔の遊びや軽スポーツ等で地域交流を図ります。				地区社協(共通事業) 地区の各種団体
方向性	令和5年度(2023)	令和6年度(2024)	令和7年度(2025)	令和8年度(2026)	予定財源	
	→ 継続	→ 継続	→ 継続	→ 継続	自主財源 共同募金配分金	

実施事業名		実施事業内容				主な協働・連携等
敬老大会の開催		多年にわたり社会に尽力してきた高齢者を敬愛し、長寿を祝うことを目的に地域住民の協力のもとに開催します。 毎年度、地区社協・行政と意見交換をし、敬老大会のあり方、方向性について検討していきます。				地区社協(共通事業) 民生委員児童委員 町会・地域住民 行政(市)
方向性	令和5年度(2023)	令和6年度(2024)	令和7年度(2025)	令和8年度(2026)	予定財源	
	→ 継続	→ 継続	→ 継続	→ 継続	自主財源 市補助金	

推進項目② 地域福祉のニーズ把握と地域組織体制の強化

地域の福祉ニーズの把握と対応協議する場を設け、課題解決に取り組みます。
また、地域福祉活動を行う担い手を育成し地域組織体制の強化を図ります。

実施事業名		実施事業内容				主な協働・連携等
住民福祉座談会の開催		地域の福祉ニーズや問題点を把握するための調査・分析を行い、その対処方法を地域住民と共に考え話し合い、地域福祉の増進を図るために開催します。				地区社協(共通事業)
方向性	令和5年度(2023)	令和6年度(2024)	令和7年度(2025)	令和8年度(2026)	予定財源	
	→ 継続	→ 継続	→ 継続	→ 継続	自主財源 共同募金配分金	

実施事業名		実施事業内容				主な協働・連携等
地区社協の組織体制の強化		地区社協との連携を強化し、情報を共有できる体制づくりと、地域の担い手育成のための研修会や出前講座を行います。新型コロナウイルス感染症の影響による組織活動の停滞が懸念されます。運営補助金の交付だけでなく、活動を徐々に再開・活性化させるためのサポートにきめ細やかに取り組みます。				地区社協
方向性	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	予定財源	
	➡ 継続	➡ 継続	➡ 継続	➡ 継続	自主財源 市補助金	

推進項目③ 地域福祉活動の啓発・普及・連絡

市社協の役割や活動を広く周知し、福祉活動への参加を促進するため、地域福祉活動の啓発・普及を図ります。また、広報誌及びホームページを効果的に活用し情報発信に努めます。

実施事業名		実施事業内容				主な協働・連携等
社会福祉大会の開催		市民・福祉関係者が一堂に会して、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせる福祉のまちづくりを再確認するとともに、永年本市の社会福祉事業に貢献された方々を表彰し、感謝の意を表すために開催します。				地区社協 老人クラブ 民生委員児童委員 行政（市）
方向性	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	予定財源	
	➡ 継続	➡ 継続	➡ 継続	➡ 継続	自主財源 共同募金配分金	

実施事業名		実施事業内容				主な協働・連携等
総合福祉作品展の開催		障がい児者や高齢者が制作した作品を一堂に展示し、地域住民の社会福祉に対する理解と認識の向上を図るとともに、障がい児者や高齢者の自立と社会参加の促進を目的に開催します。				市社協 福祉施設・団体 教育機関 老人クラブ
方向性	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	予定財源	
	➡ 継続	➡ 継続	➡ 継続	➡ 継続	自主財源 共同募金配分金	

実施事業名		実施事業内容				主な協働・連携等
広報誌「福祉だより」の発行		市社協の役割や活動を広く周知し、福祉活動への地域住民の参加を促進するために、年2回、広報誌「福祉だより」を発行し毎戸配布します。				
方向性	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	予定財源	
	➡ 継続	➡ 継続	➡ 継続	➡ 継続	自主財源 共同募金配分金	

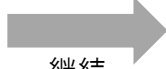

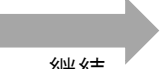

実施事業名		実施事業内容				主な協働・連携等
ホームページの運営		市社協のPRと地域の福祉情報を発信し、住民や団体の地域福祉への主体的な参加を促進します。				
方向性	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	予定財源	
	➡ 継続	➡ 継続	➡ 継続	➡ 継続	自主財源	

基本目標Ⅱ ボランティアの育成及び福祉教育の推進


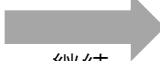
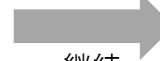

推進項目① ボランティアの育成と活動の支援





ボランティア活動の充実に向けて、各ボランティア団体との連携を図るとともに、ボランティア情報の収集及び提供、講習会の開催など、ボランティア活動の育成と支援に努めます。



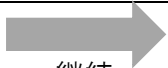
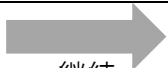
また、弘前市が設置するひろさきボランティアセンターの運営に協力し、事業等を連携して実施するなど、地域のボランティア活動を推進します。





実施事業名		実施事業内容				主な協働・連携等
ボランティア活動への支援		住民の福祉意識の高揚とボランティア活動への積極的な参加を促進するため、ボランティアに関する啓発・相談・情報を提供するとともに、ボランティアをひろさきボランティアセンターへ斡旋します。また、ボランティア中の事故や怪我に備え、ボランティア活動保険の加入を促進します。				ボランティア団体 関係機関 ひろさきボランティアセンター
方向性	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	予定財源	
	 継続	 継続	 継続	 継続	自主財源 共同募金配分金	





実施事業名		実施事業内容				主な協働・連携等
ボランティア講座の実施		ボランティア活動をしている方や興味のある方を対象に、ボランティアに役立つ講話や実技講習を行います。				地域住民 ボランティア ひろさきボランティアセンター
方向性	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	予定財源	
	ひろさきボランティアセンターが実施するボランティア講座との集約について、ひろさきボランティアセンターと調整する。				自主財源 共同募金配分金	

実施事業名		実施事業内容				主な協働・連携等
弘前さくらまつり車いす応援隊の実施		弘前さくらまつりの期間中には、全国各地から多くの観光客が訪れます。市社協では、車いす利用者又は長時間の歩行が困難な方にもまつりを楽しんでもらうことを目的として、ボランティアによる車いすの介助や貸し出しを行ないます。				ボランティア 関係機関 行政（市）
方向性	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	予定財源	
	 継続	 継続	 継続	 継続	自主財源 共同募金配分金	

実施事業名		実施事業内容				主な協働・連携等
愛の広場レクリエーションの集いの開催		障がい児者と家族および市民とボランティアがレクリエーションを通して、楽しく交流を深め、また、自らの活動意欲を奮い起こすとともに、社会生活に融合することを願いとして開催します。コロナ禍で中止が続いたことから、交流の在り方を含む内容を見直し、今後の開催方法を検討します。				行政（市） ボランティア 福祉施設・団体
方向性	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	予定財源	
	 継続	 継続	 継続	 継続	自主財源 市補助金 県社協補助金 共同募金配分金	





実施事業名		実施事業内容				主な協働・連携等
バリアフリーねぶた弘前ヤーヤドー会の開催 (弘前ねぶたまつり障がい者参加支援事業)		障がい者が、弘前ねぶたまつりへの参加を通じ、障がい者相互間、及び市民との交流を図ることにより、障がい者の社会参加を促進する。このことにより、ノーマライゼーションの理念の普及を図るとともに、バリアフリーのまちづくりを目指す。				行政（市） ボランティア 福祉施設・団体
方向性	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	予定財源	
	 継続	 継続	 継続	 継続	自主財源 共同募金配分金	




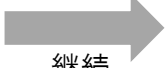
実施事業名		実施事業内容				主な協働・連携等
災害時のボランティア活動への支援		甚大な被害をもたらす災害が発生した場合、市と協議の上、災害ボランティアセンターを設置し、被害状況の調査を行うとともに、災害ボランティアの登録・派遣を行います。また、他県及び他市町村にて大規模災害が発生した場合、要請に応じ応援職員を派遣します。また、災害ボランティア養成のための講座、研修会を開催します。				行政（市） ボランティア 関係機関 県共同募金会
方向性	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	予定財源	
	 継続	 継続	 継続	 継続	自主財源	





実施事業名		実施事業内容				主な協働・連携等
寄付物品の受入及び活用		身近な福祉活動への参加として、市社協では、プルタブやエコキャップの寄贈を市民から受け付けます。寄贈されたプルタブは、金銭に換金し社会福祉事業等に役立て、エコキャップについては、金銭に換金後、「世界の子どもにワクチンを日本委員会」に送金し、開発途上国の子どもたちへのワクチンの購入資金として役立てていただきます。また、その他の物品も受け付けており、物品の種類に応じて有効に活用します。				地域住民 企業・団体 教育機関 保育園
方向性	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	予定財源	
	 継続	 継続	 継続	 継続	自主財源	

推進項目② これからの福祉を担う人材の育成

児童・生徒の福祉やボランティア活動に対する理解と関心を高め、次世代の地域福祉活動を担う人材の育成と福祉関係の職場に就職を希望する人材の育成に取り組みます。

実施事業名		実施事業内容				主な協働・連携等
児童・生徒対象福祉体験講習会の開催		福祉の仕事に興味や関心がある児童・生徒を対象に、福祉の仕事に対する理解とイメージアップを図ることを目的に開催します。				福祉施設
方向性	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	予定財源	
	 継続	 継続	 継続	 継続	自主財源 県社協補助金 共同募金配分金	

実施事業名		実施事業内容				主な協働・連携等
福祉協力校の指定		小学校から高校の児童・生徒に対して、地域での福祉体験活動を通じて、思いやりの心を育み、互いに助け合う、社会福祉への関心や理解を深めることを目的に福祉協力校として指定します。				指定学校 地区社協
方向性	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	予定財源	
	 継続	 継続	 継続	 継続	自主財源 共同募金配分金	

実施事業名		実施事業内容				主な協働・連携等
福祉人材バンク事業（福祉人材無料職業紹介事業）の運営		福祉人材バンクでは、福祉の職場で働きたい方（求職者）と人材を求める事業所（求人事業所）を結び付ける無料職業紹介事業を実施しています。また、福祉の職場への理解と関心をもってもらえるよう、福祉の資格取得相談や福祉講座等を開催し、福祉人材の養成を図ります。				県社協 福祉施設 教育機関
方向性	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	予定財源	
	 継続	 継続	 継続	 継続	自主財源 県社協受託金	

基本目標Ⅲ 生活課題の解決に向けた相談・支援体制の強化

推進項目① 相談支援体制の充実

民生委員や各種専門職の協力を得て、日常生活で生じる様々な困り事や心配ごとを気軽に相談できる窓口を設置し、問題の解決へ繋がるよう努めます。

実施事業名		実施事業内容				主な協働・連携等
ふれあい相談所の設置 運営		日常生活上の心配ごとや悩みごとの相談及び弁護士・税理士・社労士による専門相談(法律・税金・労働・年金等)により、適切な助言・援助を行い、誰もが地域で安心して暮らせるよう取り組みます。				相談員 専門相談員 各種相談機関
方向性	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	予定財源	
	→ 継続	→ 継続	→ 継続	→ 継続	自主財源 市補助金 共同募金配分金	

推進項目② 生活困窮者に対する支援の強化





制度の狭間にあり支援につながりにくい生活困窮者世帯に対し、市社協、行政、教育機関などが連携し、自立に向けた支援を長期的に行います。

実施事業名		実施事業内容				主な協働・連携等
ひろさき生活・仕事応援センターとの連携		市が設置する、生活困窮者自立支援法に基づく自立相談支援機関である「ひろさき生活・仕事応援センター」と連携し、生活困窮者への支援に取り組みます。				行政(市) 就労関係機関
方向性	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	予定財源	
	→ 継続	→ 継続	→ 継続	→ 継続	自主財源	

実施事業名		実施事業内容				主な協働・連携等
生活福祉資金貸付事業の実施		低所得世帯等を対象に、資金の貸付と必要な援助指導を行うことにより、経済的自立及び生活意欲の助長促進並びに社会参加の促進を図り、安定した生活を送ることができるようにすることを目的に実施します。コロナ禍で実施した特例貸付が令和4年度で終了となり、今後は、償還が開始となった方や、引き続き生活に困窮する方への相談支援を実施します。				県社協 民生委員児童委員
方向性	令和5年度(2023)	令和6年度(2024)	令和7年度(2025)	令和8年度(2026)	予定財源	
	➡ 継続	➡ 継続	➡ 継続	➡ 継続	県社協受託金	





実施事業名		実施事業内容				主な協働・連携等
たすけあい資金貸付事業の実施		低所得世帯等を対象に、経済的自立及び生活意欲の助長促進等が図られるよう、小口の貸付を実施します。				行政（市） 民生委員児童委員
方向性	令和5年度(2023)	令和6年度(2024)	令和7年度(2025)	令和8年度(2026)	予定財源	
	➡ 継続	➡ 継続	➡ 継続	➡ 継続	自主財源	





実施事業名		実施事業内容				主な協働・連携等
たすけあい緊急支援事業の実施（フードバンク事業の変更）		生活困窮者の生活相談を関係機関への支援に繋がります。また、緊急時には、消費期限が近いことで処分されてしまう食料を企業等から無償で譲り受け、生活に困窮する相談者等へ提供します。				県社協 協賛企業 関係機関
方向性	令和5年度(2023)	令和6年度(2024)	令和7年度(2025)	令和8年度(2026)	予定財源	
	➡ 新規	➡ 継続	➡ 継続	➡ 継続	自主財源	

実施事業名		実施事業内容				主な協働・連携等
学習支援事業の実施		生活保護世帯又は生活困窮等の課題を抱える世帯の中学生・高校生等を対象に、貧困の連鎖を防止する観点から、学習習慣や生活習慣の確立と習意欲の向上を図ることを目的とし学習支援を行います。				行政（市） 弘前大学ボランティアセンター
方向性	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	予定財源	
	 継続	 継続	 継続	 継続	自主財源 市受託金	

推進項目③ 権利擁護の推進

認知症、知的障がい、精神障がい等により判断能力が不十分な方が、地域で安心して生活できるように支援します。

実施事業名		実施事業内容				主な協働・連携等
日常生活自立支援事業の実施		判断能力が不十分な方が地域において自立した生活を送れるよう、利用者との契約に基づき、日常的な金銭の管理や福祉サービスの利用援助等を行います。				関係機関 行政（市）
方向性	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	予定財源	
	 拡充	 拡充	 継続	 継続	自主財源 県社協受託金 利用料	

実施事業名		実施事業内容				主な協働・連携等
法人後見事業の実施		判断能力が不十分な方の成年後見人等に就任し、利用者が尊厳のある本人らしい生活を継続し、地域社会に参加できるよう支援します。弘前圏域権利擁護支援センターが開催する成年後見人等候補者受任調整会議に参加するなど、制度の利用促進に努めます。また、身近に親族等がないなどで、死後の手続きに不安を抱えている方が、死後の手続きを委託する事業について、調査・研究します。				弘前圏域権利擁護支援センター 関係機関
方向性	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	予定財源	
	 拡充	 拡充	 継続	 継続	自主財源 市補助金 利用料	

基本目標Ⅳ 健康増進と福祉サービスの提供

推進項目① 高齢者の社会参加と生きがいの推進

高齢者が生きがいを持って健康で暮らしていくためには、積極的に社会に参加するきっかけをつくる必要があります。市社協では、健康づくりを目的として生涯スポーツを推進するとともに、社会活動に取り組めるよう、老人クラブと連携し高齢者が活躍しやすい地域づくりを推進します。

実施事業名		実施事業内容				主な協働・連携等
屋内ゲートボール場 すぱーく弘前の管理運営		高齢者の生涯スポーツの振興と生きがいを通して、ふれあいと健康増進を図ることを目的として運営する施設です。また、地域住民のふれあい交流の場としても活用します。また施設・設備の老朽化にともない、行政と協議しながら、今後の在り方について検討していきます。				関係機関
方向性	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	予定財源	
	➡ 継続	➡ 継続	➡ 継続	➡ 継続	自主財源 市補助金	

実施事業名		実施事業内容				主な協働・連携等
健康・生きがいの推進事業の実施		冬期間における高齢者の健康と生きがいを高めることを目的に、軽スポーツ親善大会と研修会を開催します。				行政（市） 老人クラブ 各競技団体
方向性	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	予定財源	
	➡ 継続	➡ 継続	➡ 継続	➡ 継続	自主財源 市補助金	





実施事業名		実施事業内容				主な協働・連携等
弘前市老人クラブ連合会との連携		弘前市老人クラブ連合会の事務局を市社協で受託し、高齢者の社会参加の促進と健康増進に努めるとともに、地域を豊かにする社会活動に取り組みます。				老人クラブ 行政（市） 関係機関
方向性	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	予定財源	
	➡ 継続	➡ 継続	➡ 継続	➡ 継続	市老連受託金	


推進項目② 福祉サービスの提供


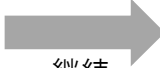


地域の実情や利用者のニーズを把握し、地域住民が利用しやすい福祉サービスを提供します。また、多様な事業主体と連携を図り、地域の福祉活動や福祉サービスの課題を解決するための仕組みづくりを推進します。

実施事業名		実施事業内容				主な協働・連携等
生活支援体制整備事業の実施		生活支援コーディネーターを配置し、市が設置する協議体と協働し、地域住民やボランティア、NPO、民間企業、社会福祉法人等の多様な事業主体と連携を図り、地域における生活支援・介護予防サービスの提供体制を構築し、高齢者等の生活を支援します。				地区社協 地域住民 行政（市） 関係機関
方向性	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	予定財源	
	→ 継続	→ 継続	→ 継続	→ 継続	市受託金	

実施事業名		実施事業内容				主な協働・連携等
緊急通報装置給付等事業の実施		在宅の高齢者等を対象に、緊急時の通報手段として福祉安心電話を設置するとともに、地域の協力体制をとおして、地域住民の社会福祉への参加を促進し、福祉に対する啓発を図ります。				地区社協(共通事業) 民生委員児童委員 協力員 行政（市）
方向性	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	予定財源	
	継続 (設置台数減)	継続 (設置台数減)	計画期間の後半には利用台数の減少が進み、事業の在り方について見直す必要があります。		市受託金 県社協補助金 利用者会費	

実施事業名		実施事業内容				主な協働・連携等
外出支援サービス事業の実施（岩木地区）		加齢による機能低下や身体の障がいにより、日常的に歩行が不自由な地区住民を対象に、自家用有償旅客運送者（福祉有償運送）としての移送用車両で、利用者の自宅から目的の場所までの送迎を行い、健康維持と生きがいづくりを目的として実施します。				行政（市） 包括支援センター
方向性	令和5年度（2023）	令和6年度（2024）	令和7年度（2025）	令和8年度（2026）	予定財源	
	 継続	 継続	 継続	 継続	市受託金 利用料	

実施事業名		実施事業内容				主な協働・連携等
身体障害者福祉センターの運営		令和5(2023)年度は、市からの受託により岩木保健福祉センター内にて運営管理を行い、在宅の身体障がい者の日常の相談支援や機能回復訓練のほか、当事者団体への運営支援や利用者同士の親睦事業を開催するなど、総合的なサービスを提供します。また令和6(2024)年度以降については、令和6(2024)年度完成予定の新身体障害者福祉センター（仮称）の指定管理者の指定を目指します。				行政（市） 障害者団体 関係機関
方向性	令和5年度（2023）	令和6年度（2024）	令和7年度（2025）	令和8年度（2026）	予定財源	
	 継続	令和6(2024)年6月完成予定の新身体障害者福祉センターの指定管理者の指定を目指す			自主財源 市受託金 市補助金	

実施事業名		実施事業内容				主な協働・連携等
身体障害者体育館の管理運営		障がいのある方々を対象とし、健康・体力づくり、社会参加へ向けた活動を支援することを目的に無料で貸出。また利用の空があるときは、一般の市民へ有料にて貸出を行っています。令和6(2024)年度、新身体障害者福祉センター(仮称)が隣地に建設されるのを機に、一体的に活用することにより、総合的なサービスを提供することを目指します。また、施設・設備の老朽化を踏まえ、行政と協議しながら、今後の在り方を検討していきます。				行政(市) 障害者団体 関係機関
方向性	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	予定財源	
	 継続	 継続	 継続	 継続	自主財源 市受託金 市補助金	

基本目標Ⅴ 市社協の組織体制整備と運営基盤の強化

推進項目① 職員の資質向上と財源の確保

複雑化する福祉課題に対応していくために、市社協職員の資質を向上させるとともに事務局体制の整備を図ります。また、安定した地域福祉活動を推進するため、活動財源を確保する体制づくりを推進し、経営基盤の強化に取り組みます。

実施事業名		実施事業内容				主な協働・連携等
市社協事務局の体制整備		職員の専門性を高めるため、資格取得を促進するとともに、内外部の研修会等に積極的に参加させ、職員の資質向上を図ります。また、長期的な職員体制整備計画を基に、持続的な運営を目指すとともに、各部署の有り方について検討します。				
方向性	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	予定財源	
	→ 継続	→ 継続	→ 継続	→ 継続	自主財源	


実施事業名		実施事業内容				主な協働・連携等
共同募金運動への協力		共同募金運動で集められた募金は、様々な福祉事業に役立てられているとともに、市社協が展開する地域福祉事業にも配分され、貴重な活動財源となっています。市社協では、弘前市共同募金会の事務局運営を担い、共同募金会の活動を積極的に支援します。				県共同募金会 市共同募金委員会 地域住民
方向性	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	予定財源	
	→ 継続	→ 継続	→ 継続	→ 継続	県共募受託金 共同募金配分金	

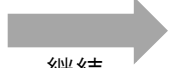


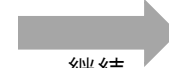
実施事業名		実施事業内容				主な協働・連携等
社協会員の増強と周知		社協会員の会費は、住民参加の地域福祉活動を展開するための、重要な活動財源となっています。安定した財源を確保するためにも、市社協の活動内容を住民に周知し、会員の増強に取り組めます。				地区社協 地域住民 福祉施設・団体
方向性	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	予定財源	
	➡ 継続	➡ 継続	➡ 継続	➡ 継続	自主財源	



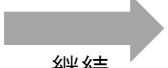
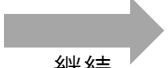
推進項目② 関係機関団体との連携・協力

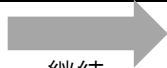

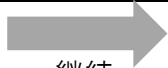

地域福祉活動の中核的拠点と情報発信及び住民交流の場として、福祉センターの機能充実を図ります。また、福祉団体への助成、関係機関との連携を図り、地域に根差した福祉活動を推進します。

実施事業名		実施事業内容				主な協働・連携等
弘前市社会福祉センターの管理運営		弘前市の地域福祉活動の拠点と情報発信の場として、市社協の事務局を設置し、地域に根ざした福祉サービスの提供を目指して運営します。また、社会福祉センターでは、会議室や調理実習室等を備えており、社会福祉団体等に無料で貸し出しするとともに、住民の情報交換の場として活用します。また、施設・設備の老朽化への対応として、行政と協議しながら今後の在り方について検討します。				行政（市）
方向性	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	予定財源	
	➡ 継続	➡ 継続	➡ 継続	➡ 継続	自主財源 市補助金	

実施事業名		実施事業内容				主な協働・連携等
岩木保健福祉センターの施設管理業務の受託		令和5(2023)年度は市からセンターの管理業務を受託し、外出支援サービス事業等を実施します。また、市社協の支部と岩木地区社協の事務局が併設されており、岩木地区の地域福祉の拠点として、地域に根ざしたきめ細やかな福祉サービスの提供を目指して運営します。なお、令和6(2024)年度以降については、施設の改修により使用目的が変更されるため、行政と協議し市社協支部の在り方について、検討していきます				地区社協 行政(市)
方向性	令和5年度(2023)	令和6年度(2024)	令和7年度(2025)	令和8年度(2026)	予定財源	
	 継続	行政との協議により検討します。			自主財源 市受託金	

実施事業名		実施事業内容				主な協働・連携等
赤十字活動への協力		市社協では、日本赤十字社青森県支部弘前市地区の事務局運営を担い、弘前市における赤十字活動の普及や活動団体の育成に努めます。 大規模災害の義援金の受付や市内災害発生時の見舞品の提供を行います。				赤十字会員(社員) 赤十字奉仕団 日本赤十字社青森県支部 赤十字弘前市地区・分区 (地区社協、民生委員、町会等) 地域住民
方向性	令和5年度(2023)	令和6年度(2024)	令和7年度(2025)	令和8年度(2026)	予定財源	
	 継続	 継続	 継続	 継続	赤十字社受託金	

実施事業名		実施事業内容				主な協働・連携等
更生保護推進への協力		弘前地区更生保護サポートセンターや青森県地域生活定着支援センターと連携し、犯罪をした者等の更生保護に協力します。「社会を明るくする運動」に参加します。				行政（市） 弘前地区更生保護サポートセンター 青森県地域生活定着支援センター
方向性	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	予定財源	
	 新規	 継続	 継続	 継続	自主財源	

実施事業名		実施事業内容				主な協働・連携等
福祉団体実施事業への支援・助成		弘前市内に拠点を置いている福祉団体に対し、団体の活動の強化・育成・支援等を行うことと、地域福祉の向上を図ることを目的に、共同募金配分金を財源とした助成金を交付します。				市社協 福祉団体
方向性	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	予定財源	
	 継続	 継続	 継続	 継続	共同募金配分金	

弘前市地域福祉活動計画

令和5(2023)年3月作成

発行者 : 社会福祉法人 弘前市社会福祉協議会
〒036-8063 青森県弘前市大字宮園二丁目8番地1
TEL : 0172-33-1161 / FAX : 0172-33-1163
E mail : fureai@hirosaki-shakyo.jp
URL : <http://www.hirosaki-shakyo.jp/>